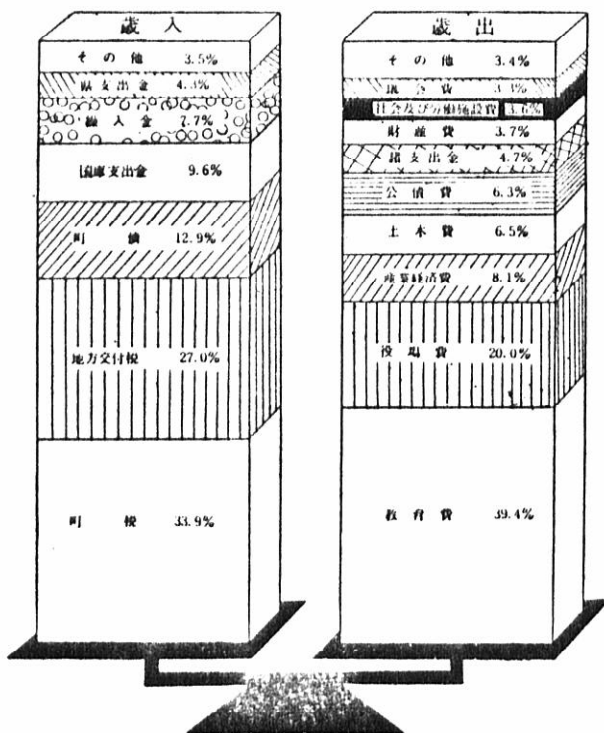
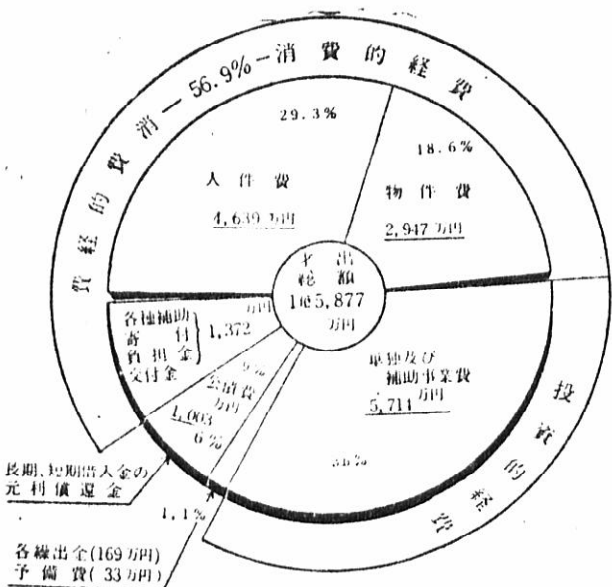


町の財政（昭和38年度一般会計予算）



15,877万円



4月の納税

固定資産税 一期
軽自動車税 全期
国民健康保険税 一期
(暫定賦課)
4月30日まで

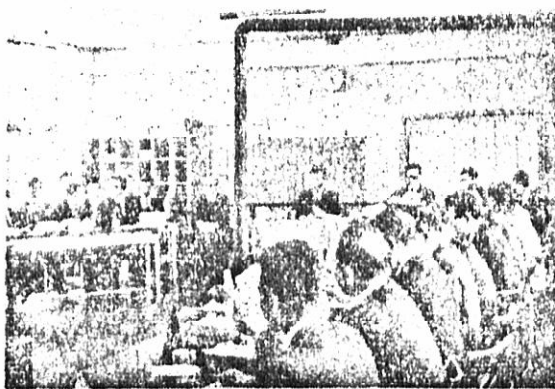
春の花見や行楽行事をめぐって例年多く発生する各種の犯罪、少年非行、火災など御協力をお願い致します

春季
総合
防犯運動初まる

四月二十一日より

五月十日まで――

議 会 風 景



労働に
せう、一
算が成立
いたしま
した。
本年度の重点施策として
は、先づ学校施設の充実に意
を注ぎ、前田小学校建築等
は昨年度に引き続いて、三
期工事屋体等を計上、年内
で努力しています。さらに
米内沢中学校増築、前田中
学校補修のためにも相応額
を計上いたしております。
子算編成にあたっては、
住民の要望を出来るだけ反
映せしめ、町全体の立場か
らも検討して、限られたリ
ク内ながらも充分の効果が
得られるよう配慮いたしま

新年度を迎えて

町長 近藤 富治郎

各位の熱意と、関係方面の多大な御協力により、町政の順調な振展をみていますことは、まことに御同慶に堪えません。

配をおかけしましたが、民生安定のためあらゆる努力を続けたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

政運営により、予算の効率化を期したいと存じます。

本町におきましても農業構造改善、教育福祉施設の充実、道路整備、商工視察

題が数多くありますが、国策、県総合開発等と相俟って町議会と一体となり

本町の事情に応じたところの方策を進めてまいりたい

次であります。

◆ ◆

三月定例
町議会で
新年度予算など

昭和三十三年年度予算等を審議する三月定例町議会は三月十一日招集され、予算決算その他六十一議案を審議可決して十八日閉会した主なものは次の通り	昭和三十三年年度予算	一三八、九一七千円	▽診療所会計	二八、〇四八千円
1, 昭和三十三年年度予算	(別掲の通り可決)	▽一般会計	一八二、四一一千円	▽簡易水道会計
2, 昭和三十三年年度決算		▽国保会計	一八二、四一一千円	二、九一一千円
▽一般会計決算額			一八、五三二千円	▽前田財産区会計
				一〇七、九二三千円
				の現計額となった。
				4, 給与改訂による特別職並に一般職の給与関係条例の一部が改正された次の通り

昭和38年度予算
一般会計(単位万円)

歳 入		
科 目	予算額	割合(%)
町 税	5,382	33.9
地方交付税	4,300	27.0
財産収入	1	
負担金分担金	183	1.1
使用料手数料	187	1.1
国庫支出金	1,532	9.6
県支出金	694	4.3
寄附金	151	0.9
繰入金	1,140	7.7
雑収入	247	1.5
町 債	2,060	12.9
合 計	15,877	100.0
歳 出		
科 目	予算額	割合(%)
議会費	529	3.3
役場費	3,178	20.0
消防費	279	1.8
土木費	1,033	6.5
教育費	6,258	39.4
社会労働費	574	3.6
保健衛生費	271	1.7
産業経済費	1,278	8.1
財産費	553	3.7
統計調査費	36	0.2
選挙費	70	0.5
公債費	1,003	6.3
諸支出金	752	4.7
予備費	33	0.2
合 計	15,877	100.0

特別會計

国民健康保険	1,942万円
直営診療所	1,450名
森吉診療所	236名
米内沢財産区	358名
前田財産区	1,324名
水道	213名
育英	7名
合 計	5,530名

4月17日(水)投票日

午前7時～午後6時

(桐内沢・小滝・湯ノ岱投票所は午後5時迄)

秋 田 県 知 事
秋田県議会議員一般

選舉

型です

警告 //

成に努めること。なお、
の出穂の好適期としては
山間部 八月五日より
平担部 八月十五日頃迄
八月二日より
八月二十日頃迄

——苗代施肥

苗代肥料としては、低湿
が予想される関係で、リン
サン肥料を増施すること。
——本田施肥

本田初期及び中期に於て
低湿が予想されるので、チ
ツン肥料は、控え目にし、
リンサン質肥料を多日に施
すことが大切です。

カリ肥料は水ハケの悪い
土壌（ブライ層）では、基
肥に三分の一、出穂前五日
頃に残り三分の一を施すこ